

- 5) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第10回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年6月4日.
- 6) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 第22回関東臨床歯科麻醉懇話会(地方会開催, 会長: 瀬尾憲司), 東京, 2005年6月25日.
- 7) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟市歯科医師会主催救急講習会(講師), 新潟, 2005年7月21日.
- 8) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第11回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年7月23日.
- 9) 石井多恵子, 岡部香織: BLSヘルスケアプロバイダー資格取得(AHA 福島トレーニングサイト), 新潟, 2005年7月23日.
- 10) 豊里 晃: BLSヘルスケアプロバイダー資格取得(AHA 大阪トレーニングサイト), 大阪, 2005年8月6日.
- 11) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 岡部香織, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 松村歯科救急蘇生講習会(講師), 新潟, 2005年8月20日.
- 12) 染矢源治, 瀬尾憲司, 田中 裕, 豊里 晃, 石井多恵子, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟県歯科医師会救急蘇生講習会(講師), 新潟, 2005年9月11日.
- 13) 瀬尾憲司: 新潟大学歯学部FD主催(共同主催), 熊澤孝明先生講演「慢性炎症」とはなんだろう, 新潟, 2005年9月16日.
- 14) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第12回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年10月15日.
- 15) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 前川孝治, 照光 真, 倉田行伸: 新潟県西蒲原郡歯科医師会救急講習会(講師), 新潟, 2005年11月5日.
- 16) 染矢源治, 田中 裕, 豊里 晃, 石井多恵子: 新潟県歯科医師会ワーキンググループ救急講習会(講師), 新潟, 2005年11月6日.
- 17) 染矢源治, 豊里 晃: 沖縄県障害者全身麻酔下歯科治療事業, 沖縄県, 2005年11月16日-11月30日.
- 18) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第13回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年11月19日.
- 19) 田中 裕: AHA Advance Cardiopulmonary Life Support provider 資格取得(AHA 新潟トレーニングサイト), 新潟, 2005年11月26-27日.
- 20) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第13回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師)新潟, 2005年12月10日.
- 21) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第14回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年1月28日.
- 22) 瀬尾憲司: 新潟大学歯学部FD開催(主催), 田中敏春先生講演「歯科医師にとって必要な新しい救急蘇生法」, 新潟, 2006年2月3日.
- 23) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第15回新潟大学医歯学総合病院 BLS・AED 講習会(講師), 新潟, 2005年3月25日.

口腔生命福祉学科

【論文】

- 1) AKIKO SUZUKI, KAYOKO NOZAWA-INOUE, NOBUYUKI IKEDA, NORIO AMIZUKA, KAZUHIRO ONO, RITSUO TAKAGI, TAKEYASU MAEDA: Development of the Articular Cavity in the Rat Temporomandibular Joint With Special Reference to the Behavior of Endothelial Cells and Macrophages. THE ANATOMICAL RECORD PART A, 286A: 908-916, 2005.
- 2) Yasumitsu KODAMA, Marta MIYAZAWA, Jun-ichi FUKUDA, Akihiko IIDA, Kazuhiro ONO, Ritsuo TAKAGI: Progressive Memifacial Atrophy Treated by Orthodontic Surgery. Oral Science International, 2(2): 131-135, 2005.
- 3) Takei N, Ishikawa M, Shibuya K, Fukushima M, Iwaku M. Esthetics and oral care for the elderly-Order-made oral care based on an assessment of their independence and oral condition-. 歯科審美. 2005; 17(2):158-60.
- 4) Han L, Okamoto A, Fukushima M, Okiji T. :Enamel micro-cracks produced around restorations with flowable composites. Dent Mater J. 2005; 24(1): 83-91.
- 5) Honda T, Oda T, Yoshie H, Yamazaki K: Effects of *Porphyromonas gingivalis* antigens and proinflammatory cytokines on human coronary artery endothelial cells. Oral Microbiol Immunol, 20(2): 82-88, 2005.
- 6) Komatsu Y, Tai H, Galicia JC, Shimada Y, Endo M, Akazawa K, Yamazaki K, Yoshie H: Interleukin-6 (IL- 6)- 373 A9T11 allele is associated with reduced susceptibility to chronic periodontitis in

- Japanese subjects and decreased serum IL-6 level. Tissue Antigens, 65(1): 110-114, 2005.
- 7) Nakajima T, Ueki-Maruyama K, Oda T, Ohsawa Y, Ito H, Seymour GJ, Yamazaki K: Regulatory T-cells infiltrate Periodontal Disease Tissues. J Dent Res, 84(7): 639-643, 2005.
- 8) Ito H, Honda T, Domon H, Oda T, Okui T, Amanuma R, Nakajima T, Yamazaki K: Gene expression analysis of the CD4⁺ T-cell clones derived from gingival tissues of periodontitis patients. Oral Microbiol Immunol, 20(6): 382-386, 2005.
- 9) Amanuma R, Nakajima T, Yoshie H, Yamazaki K: Increased Infiltration of CD1d⁺ and NKT Cells in Periodontal Disease Tissues. J Periodont Res, 41(1): 73-79, 2006.
- 10) 津端久美子, 福田純一, 藤田 一, 安島久雄, 小野和宏, 高木律男: 若年者の顎矯正手術後に生じた深部静脈血栓症の1例. 日本口腔外科学会雑誌, 51(10): 520-523, 2005.
- 11) 安島久雄, 高木律男, 今井信行, 小野和宏, 飯田明彦, 嵐山貴徳: 小児開口障害の2例. 小児口腔外科, 15: 118-124, 2005.
- 12) 石崎裕子, 福島正義: コンポジットレジン修復におけるホワイトマージンの事前・事後対策. 歯科審美, 17(2): 236-40, 2005.
- 13) 韓 臨麟, 岡本 明, 福島正義, 子田晃一, 興地隆史: 各種ワンステップ接着システムの歯面処理能力. 日歯保存誌, 48(4): 496-507, 2005.
- 14) 風間龍之輔, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明, 笠原悦男, 加藤一誠: 歯科用CAD/CAMシステムによるオールセラミックコーピングの適合性. 歯科審美, 18(1): 29-35, 2005.
- 15) 竹中彰治, 増田貴弓, 岩本優子, 尾添裕美子, 福田敬, 富田文仁, 村山美根子, 西川幸枝, 興地隆史, 福島正義: 口腔ケアとしてのホームブリーチングフッ化物配合歯磨剤(ジェルコートF)との併用による口腔内細菌数の変動と知覚過敏抑制効果. 日歯保存誌, 48(5): 751-8, 2005.
- 16) 喜多美知子, 中島貴子, 山崎和久, 吉江弘正: 有病高齢者におけるPMTcが歯周組織および唾液, 血清成分に与える効果. 日本歯科保存学雑誌, 48(5): 629-636, 2005.
- 17) 山崎和久: 歯周炎と組織再生. 日本補綴歯科学会雑誌, 49(4): 587-592, 2005.
- 18) 鈴木昭, 藤沢直子, 笠井友治郎: 児童相談所は地域に何を伝えるどのように連携していくか(第1報) - 児童虐待通告受理時における初期対応の分析結果から - . 子どもの虐待とネグレクト: 8(1): 21-26, 2006.
- 19) 鈴木昭, 河野正司, 野村修一, 伊藤加代子, 豊里 晃, 田巻元子, 八木 稔, 葭原明弘, 大内章嗣: 介護認定申請者における要介護度別歯科疾患の実態および歯科的治療ニーズに関する研究. 新潟歯学会誌 35(2): 25-30, 2006.
- 20) 富沢美恵子, 佐野富子, 大久保総一郎: ニフェジピンによる歯肉増殖症. 小児高血圧研究会誌, 3(1): 54-57, 2005.
- 21) 隅田好美: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者への告知. 社会問題研究, 55(1): 53-68, 2005.
- 22) 隅田好美: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者における人工呼吸器装着の自己決定過程 - 患者・家族・専門職の認識のズレと相互作用による変化. 日本社会福祉学会 社会福祉学: 46(2), 52-64, 2005.
- 【著書】
- 1) 高橋優三, 鈴木康之編集: 新しい医学教育の流れ '04 医学教育セミナーとワークショップの記録. 三恵社, 名古屋, 2005.
- 2) 福島正義, 高橋優三, 鈴木康之編著: 新しい医学教育の流れ '04 医学教育セミナーとワークショップの記録, 380-3頁. 三恵社, 名古屋, 2005.
- 3) 福島正義, 千田 彰, 中垣晴男, 眞木吉信編著: フッ化物徐放性修復物ガイドブック. 6-9頁, 永末書店, 京都, 2005.
- 4) 福島正義, 渡邊 誠, 岩久正明監著: 歯科衛生士のための高齢者歯科学. 94-101頁, 永末書店, 京都, 2005.
- 5) 中島貴子, 山崎和久: 歯科衛生士のための高齢者歯科学(岩久正明, 渡邊誠編著). 第6章 健常な高齢者の歯科診療 2. 歯周疾患への対応. 102-107頁, 永末書店, 京都, 2005.
- 6) 山崎和久: 標準歯周病学 第4版, 第2章 歯周疾患 3. 歯周疾患の感染と免疫のメカニズム(鴨井久一, 山田 了, 伊藤公一編集). 31-43頁, 医学書院, 東京, 2005.
- 7) 山崎和久: 薬 '06/07 口腔疾患からみる治療薬と処方例. 全身疾患を伴う歯周炎. 34頁, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2005.
- 8) 隅田好美. 第9章 医療的処置における自己決定 - 筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者への支援(牧洋子・和田謙一郎編), 転換期の医療福祉 - 難病・公害病・被爆者問題などへの新たな挑戦, 139-150頁, せせらぎ出版, 大阪, 2005.
- 【商業誌】
- 1) 福島正義: メタルフリー修復のメンテナンスはど

のようにすればよいのでしょうか? .デンタルダイヤモンド増刊号, Vol.30 No428:130-131 頁, 2005.

- 2) 尾添裕美子, 竹中彰治, 岩本優子, 興地隆史, 福島正義: 新・臨床に役立つすぐれモノ/松風ハイライトシェードアップ. デンタルダイヤモンド, 30(431):136-139 頁, 2005.
- 3) 福島正義: 健康相談室 “子供のころから歯が白とうす茶のまだらに担っている”. すこやかファミリー, 1月号, 30-31 頁, (株)法研, 2006.

【研究成果報告書】

- 1) 福島正義: う蝕ハイリスク者におけるフッ素徐放性修復材料の2次う蝕予防効果に関する予備的臨床研究. 厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究(H15-医療-020)平成16年度研究報告書, 149-59, 2005年.
- 2) 隅田好美, 吉岡克彦, 久住純司, 黒田研二: 障害者の在宅医療の調査・研究 - ALS患者における情報提供の問題点と改善方法. 財団法人勇美財団研究助成報告書, 2005年.
- 3) 松山順子, 富沢美恵子, 佐藤拓一, 高橋信博, 野田 忠: 小児の成長発育に伴う口腔細菌叢の変動に関する研究. 平成14~16年度科学研究費補助金研究成果報告書, 基盤研究(C)(2)課題番号14571944, 2006年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 小野和宏: 歯科医学教育へのPBLの導入 - 新潟大学歯学部への試み -. 日本歯科医学教育学会教育能力開発委員会主催 シンポジウム「歯科医学教育におけるPBLテュートリアルーなぜ、いまPBLテュートリアルなのか」. 平成17年2月11日, 東京都.
- 2) 福島正義: 「すべての人に白い歯を、これから始めるホワイトニング」第1回日本歯科審美学会セミナー 東京医科歯科大学歯学部特別講堂, 2005年7月17日.
- 3) 福島正義: 白くきれいな歯 新潟フォーラム「変色歯によるストレスからの解放」日本歯科保存学会主催, 新潟県歯科医師会館, 2005年10月22日.
- 4) 福島正義: 歯科臨床を支える接着修復. 平成17年度加茂市見附市歯科医学会, グランドール四季亭, 見附市, 2005年10月20日.
- 5) 福島正義: 歯学部教育の新しい流れ - 口腔生命福祉学科 -. 平成17年度北蒲原郡豊栄市歯科医師会学術講演会, ホテルイタリア軒, 新潟市, 2005年11月26日.
- 6) 福島正義: はつらつ元気塾 - お口の中は大丈夫? 八

歯の話お話し『ワハハと笑える歯とからだ - お口の中の健康について - 』新潟市黒崎北部公民館, 講堂 2006年3月6日.

- 7) Yamazaki K: Periodontitis and T-cell regulation. Research Seminar at Emory University, Atlanta, March 8, 2005.
- 8) 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* LPSの不思議. 大阪大学大学院歯学研究科大学院セミナー, 2005年4月13日.
- 9) 山崎和久: 歯周疾患と全身疾患. 岩手医科大学歯学部同窓会講演会, 2005年11月26日.
- 10) Yamazaki K: Dental Hygienist Education in the New Era. Hiroshima Conference on Education and Science in Dentistry, January 8, 2006.
- 11) 山崎和久: 歯周組織の破壊と再生 - その分子基盤 -. 第3回壬生口腔外科連携医療懇話会, 宇都宮, 2006年2月23日.
- 12) 富沢美恵子: 4年制歯科衛生士教育課程新潟大学歯学部口腔生命福祉学科が目指すもの. 第23回広島県歯科衛生士教育研究会, 広島市, 2005年9月3日.
- 13) 隅田好美: 広がりゆく歯科衛生士 - 「歯科衛生士」を伝えていく力, 第4回明倫短期大学学会学術大会シンポジウム『これからの歯科衛生士を考える』, 新潟, 2005年12月10日, 第4回明倫短期大学学会学術大会プログラム・抄録集6頁, 2005年.

【学会発表】

- 1) Kazama R, Fukushima M, Takenaka S, Sakairi M, Okiji T, Kasahara E. Effect of marginal forms on marginal leakage of CEREC crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Baltimore, March 11, 2005, J Dent Res 84(Spec Iss A):abstract #1762.
- 2) Takenaka S, Sakairi M, Kazama R, Fukushima M, Okiji T. Inter-operator Variability of CEREC 3 CAD/CAM All-ceramic Crowns. IADR/AADR/CADR 83rd General Session, Baltimore, March 10, 2005, J Dent Res 84(Spec Iss A):abstract #547.
- 3) Yamazaki K, Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Amanuma R: Balance of inflammatory response in periodontal diseases. 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology, Shanghai, November 12, 2005.
- 4) Tomizawa M, Kinoshita S, Hoshina H, Matsui H: Congenital epulis and impacted maxillary primary canine. 20th Congress of the International Association of Paediatric Dentistry, Sydney, 10/31-11/5 2005, Int J Paediatr Dent, 15

- (Supplement 2): 67, 2005.
- 5) 小野和宏, 朝日藤寿一, 毛利 環, 八巻正樹, 森田修一, 寺尾恵美子, 高木律男, 幸地省子, 須佐美隆史, 大塚純正, 根来武史, 館村 卓: 多施設共同研究にむけた資料採取の基準作成. 第 29 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京都, 5 月 25-26 日, 2005 年.
 - 6) 小野和宏, 林 孝文, 前田健康, 小林正治, 安島久雄, 瀬尾憲司, 程 王君, 齋藤 功, 西山秀昌: 歯科医学教育への PBL テュートリアル導入に対する学生の評価. 第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 徳島市, 7 月 7- 8 日, 2005 年.
 - 7) 石崎裕子, 福島正義: 健全歯列におけるエナメル質の咬耗量と咬合力との関係について(第 2 報) 接触滑走面における 10 年間の磨耗量. 日本歯科保存学会 2005 年春季大会(第 122 回), 札幌, 6 月 2 日, 2005 年.
 - 8) 原 洋介, 風間龍之輔, 緒方 真, 継 祐介, 笠原悦男, 福島正義: 歯科用 CAD/CAM CEREC3D システムによるオールセラミック修復の臨床経過, 日本歯科保存学会 2005 年春季大会(第 122 回)札幌, 6 月 3 日, 2005 年.
 - 9) 武井典子, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 給水吸引機能付き電動ブラシシステムの誤嚥の可能性についてのモデル実験, 第 21 回日本歯科人間工学会 / 日本人間工学会 口と健康部会学術大会プログラム, 37, 札幌, 8.27, 2005 年.
 - 10) 坂入正彦, 竹中彰治, 福島正義, 興地隆史, 風間龍之輔, 原 洋介, 緒方 真, 笠原悦男, 加藤一誠: 歯科用 CAD/CAM CEREC 3 システムにおけるミリングバーの消耗が修復物の適合性に与える影響. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 大阪, 10 月 8 日 - 9 日, 2005 年.
 - 11) 緒方 真, 風間龍之輔, 加藤一誠, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 原 洋介, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: フロアブルレジジンコーティングされた窩洞に対する CEREC3 インレー修復物の適合性評価. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 大阪, 10 月 8 日 - 9 日, 2005 年.
 - 12) 風間龍之輔, 加藤一誠, 緒方 真, 原 洋介, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: CERECinLab システムにより製作された Y-TZP クラウンコーピングの適合性. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 大阪, 10 月 8 日 - 9 日, 2005 年.
 - 13) 原 洋介, 風間龍之輔, 加藤一誠, 緒方 真, 谷内秀寿, 三溝恒幸, 笠原悦男, 福島正義, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 岩久正明: CERECinEOS Scanner による光学印象より製作されたセラミックインレーの適合性. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会, 大阪, 10 月 8 日 - 9 日, 2005 年.
 - 14) 武井典子, 湯之上志保, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 大手企業勤務者の口腔の現状に対する満足度について. 第 16 回日本歯科審美学会学術大会プログラム抄録集, 94 頁, 大阪, 10 月 8 日 - 9 日, 2005 年.
 - 15) 石崎裕子, 福島正義: ナノフィラーコンポジットレジジン修復物の 1 年後の臨床評価. 日本歯科保存学会 2005 年秋季大会(第 123 回), 東京, 11 月 24 日, 2005 年.
 - 16) 風間龍之輔, 福島正義, 緒方 真, 原 洋介, 笠原悦男, 浅井哲也, 河瀬雄治, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史: 歯科用 CAD/CAM Smart Fit により製作されたアルミナコーピングの適合性. 日本歯科保存学会 2005 年秋季大会(第 123 回), 東京, 11 月 25 日, 2005 年.
 - 17) 河瀬雄治, 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 緒方 真, 原 洋介, 笠原悦男: CAD/CAM 用マシーナブルセラミックスの色調再現性. 日本歯科保存学会 2005 年秋季大会(第 123 回), 東京, 11 月 25 日, 2005 年.
 - 18) 浅井哲也, 河瀬雄治, 風間龍之輔, 緒方 真, 原 洋介, 坂入正彦, 竹中彰治, 興地隆史, 福島正義: 歯科用 CAD/CAM CEREC3 により製作されたラミネートベニア修復物の適合性. 日本歯科保存学会 2005 年秋季大会(第 123 回), 東京, 11 月 25 日, 2005 年.
 - 19) 中島貴子, 小田太郎, 天沼亮子, 植木 - 丸山薫, 伊藤晴江, 本田朋之, 吉江弘正, 山崎和久: 慢性炎症性歯周疾患で認められる B 細胞ケモカインの発現と濾胞樹状細胞の浸潤. 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2005 年 4 月 22 日, 日歯周誌, 47 巻春季特別号, 104 頁, 2005.
 - 20) 伊藤晴江, 小田太郎, 本田朋之, 奥井隆文, 中島貴子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎組織から樹立した T 細胞クローンの性状について. 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会, 長崎, 2005 年 4 月 22 日, 日歯周誌, 47 巻春季特別号, 105 頁, 2005.
 - 21) 天沼亮子, 植木 - 丸山 薫, 中島貴子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎歯肉組織における制御性 T 細胞の免疫組織学的解析. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2005 年 7 月 9 日.
 - 22) 天沼亮子, 中島貴子, 植木 - 丸山 薫, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎歯肉組織における CD1 陽性細胞と natural killer T 細胞の免疫組織学的解析. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2005 年 7 月 9 日.
 - 23) 板垣真奈美, 久保田健彦, 田井秀明, 島田靖子, 両角俊哉, 山崎和久, 吉江弘正: 日本人歯周炎患者に

- おける MMP-1, -3 遺伝子多型の解析. 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2005 年 7 月 9 日.
- 24) 田井秀明, 小林哲夫, 小松康高, 島田靖子, 久保田健彦, 山崎和久, 吉江弘正: インペーダー法による歯周病感受性遺伝子診断システムの確立. 第 48 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2005 年 9 月 22 日, 日歯周誌, 47 巻秋季特別号, 81 頁, 2005.
- 25) 土門久哲, 小田太郎, 本田朋之, 吉江弘正, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide はマクロファージにおける IRAK-M 発現を増強させる. 第 48 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2005 年 9 月 22 日, 日歯周誌, 47 巻秋季特別号, 93 頁, 2005.
- 26) 奥井隆文, 伊藤晴江, 本田朋之, 天沼亮子, 中島貴子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎組織から樹立した CD4⁺CD25⁺T 細胞クローンの機能的解析. 第 48 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2005 年 9 月 22 日, 日歯周誌, 47 巻秋季特別号, 113 頁, 2005.
- 27) 田井秀明, 島田靖子, 小林哲夫, 多部田康一, 山崎和久, 石原裕一, 野口俊英, 曾我賢彦, 高柴正悟, 小林輝一, 岡 晃, 猪子英俊, 吉江弘正: マイクロサテライトを用いた相関解析による歯周病感受性遺伝子同定. 日本歯科保存学会 2005 年度春季学会(第 123 回), 東京, 2005 年 11 月 25 日, 日歯保存誌, 48 巻, 61 頁, 2005.
- 28) 植木 - 丸山薫, 天沼亮子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎罹患組織における LPS 受容体関連分子の免疫阻止学的解析. 日本歯科保存学会 2005 年度春季学会(第 123 回), 東京, 2005 年 11 月 25 日, 日歯保存誌, 48 巻, 230 頁, 2005.
- 29) 本田朋之, 土門久哲, 奥井隆文, 梶田桂子, 天沼亮子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎罹患組織における炎症性および抗炎症性サイトカインの遺伝子発現解析. 日本歯科保存学会 2005 年度春季学会(第 123 回), 東京, 2005 年 11 月 25 日, 日歯保存誌, 48 巻, 231 頁, 2005.
- 30) Yamazaki K, Okui T, Honda T, Ito H, Amanuma R, Nakajima T: Functional analysis of FOXP3⁺ T-cell clones established from periodontitis tissues. 第 35 回日本免疫学会総会・学術集会, 横浜, 2005 年 12 月 15 日, 日本免疫学会総会・学術集会記録, 35 巻, 277 頁, 2005.
- 31) 鈴木 昭, 藤沢直子, 笠井友治郎: 児童相談所は地域に何を伝えどのように連携していくか(第 1 報) - 児童虐待通告受理時における初期対応の分析結果から -. 日本子ども虐待防止学会, 札幌, 2005 年 9 月 4 日, 日本子ども虐待防止学会第 11 回学術集会・北海道大会プログラム・抄録集, 175 頁, 2005 年.
- 32) 鈴木 昭: 児童虐待通告受理における初期対応の検証 - 相談現場の暗黙知を形式知へ -. 日本社会福祉学会, 仙台, 2005 年 10 月 8 日, 日本社会福祉学会第 53 回全国大会報告要旨集, 173 頁, 2005 年.
- 33) 松山順子, 三富智恵, 木下承子, 富沢美恵子: 重症心身障害児施設におけるう蝕罹患状態の推移. 第 43 回日本小児歯科学会大会および総会, 仙台, 2005 年 5 月 26-27 日, 小児歯誌, 43 (2), 345 頁, 2005 .
- 34) 大内章嗣, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 小野和宏, 五十嵐敦子, 鈴木 昭, 隅田好美, 八木 稔, ステガロク・ロクサーナ, 中島俊一, 石川裕子: 口腔生命福祉学科新入生を対象とした進路希望等に関するアンケート調査 2 年間の比較. 第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 徳島市, 2005 年 6 月 7 日.
- 35) 新美奏恵, 小林正治, 鈴木一郎, 斉藤 力, 富沢美恵子: 下唇への自傷行為を認めた Lesch-Nyhan syndrome の 1 例. 日本形成外科学会関東支部第 68 回新潟地方会, 新潟, 2005 年 7 月 11 日.
- 36) 隅田好美, 黒田研二: ALS 患者における情報提供の問題点と改善方法 - 患者自身が構築したシステム. 第 10 回日本難病看護学会学術集会, 福岡, 2005 年 9 月 2 日, 日本難病看護学会誌 10 (1), 43, 2005 年.
- 37) 隅田好美: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)とともに自分らしく生きるとのこと - ALS 患者への質的調査を通して. 日社会福祉学会第 53 回大会発表, 宮城, 2005 年 10 月, 日本社会福祉学会報告要旨集, 398, 2005 年.
- 38) 小川哲次, 田中良治, 田口則宏, 石川裕子, 吉田登志子, 山崎晴美: 医療コミュニケーションセミナーについて, 徳島, 2005 年 7 月 7 日, 第 24 回日本歯科医学教育学会学術大会, 2005 年.

【研究会発表】

- 1) 山崎和久, 土門久哲, 本田朋之: マクロファージの *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide に対する応答性を規定する分子の同定. 科学研究費補助金. 基盤研究(A) 16209063 歯周病の分子標的治療開発へのゲノミクス・プロテオミクス総合研究(代表: 安孫子宜光 日本大学松戸歯学部教授) 班会議, 松戸, 2006 年 1 月 28 日.
- 2) 山崎和久, 本田朋之, 土門久哲, 奥井隆文, 梶田桂子, 天沼亮子, 中島貴子: Effects of periodontal treatment on serum inflammatory markers in periodontitis patients. 科学研究費補助金. 基盤研究(A) 15209071 歯周炎と全身疾患との関わりについての臨床研究(代表: 栗原英見 広島大学教授) 班

会議, 広島, 2006年3月3日。

- 3) 石川裕子: 学士課程の専門教育における問題基盤型学習(PBL)の導入と口腔生命福祉学科カリキュラムの構築, 2005年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会, 東京, 2005年11月25日。

【その他】

- 1) 小野和宏: マルメ留学アルバム. 新潟大学歯学部口腔外科・歯科麻酔科同門会会誌, 21: 15-19, 2005.
- 2) 小野和宏: 新潟大学歯学部におけるPBL教育の導入と実践 - マルメ大学の歯学教育を体験して - . 新潟大学歯学部口腔外科・歯科麻酔科同門会会誌, 21: 47-52, 2005.
- 3) 小野和宏: 新入生合宿研修を終えて - 新入生合宿研修の目的と意義 - . 歯学部ニュース, 平成17年度第1号(通算107号): 66-67, 2005.
- 4) 福島正義: 歯学出張講座 新潟県立国際情報高校 平成17年6月24日。
- 5) 福島正義: 歯学出張講座 新潟県立新潟中央高校 平成17年6月20日。
- 6) 福島正義: 歯学出張講座 新潟県立新潟南高校 平成17年7月1日。
- 7) 福島正義: 歯学出張講座 ハイブ長岡での進路相談会・模擬講義 平成17年7月25日。
- 8) 福島正義: ほほえみ美人 - 見える審美と見えない審美 - / 第1回 あなたは歯を出して笑えますか?, 平成17年度新潟大学歯学部公開講座, 新潟大学新潟駅南キャンパス, 平成17年10月4日。
- 9) 福島正義: 歯は白い? - 歯科審美学入門 - , 平成17年度新潟大学模擬授業『キミも新大生!』, 新潟大学総合教育研究棟, 平成17年11月26日。
- 10) 福島正義: 総務報告, 日本歯科審美学会 ニュースレター Vol 10, 2005 Winter。
- 11) 福島正義: 総務報告, 日本歯科審美学会 ニュースレター Vol 12, 2006 Winter。
- 12) 福島正義: 庶務報告, 歯科審美, 17 (2), 247-249, 2005。
- 13) 福島正義: 庶務報告, 歯科審美, 18 (1), 171-172, 2005。
- 14) 福島正義: 口腔生命福祉学科を担当して. 新潟大学歯学部同窓会誌 41-42, 第25号, 平成17年3月。
- 15) 福島正義: 口腔生命福祉学科教授に就任して. 歯学部ニュース 22-23, 平成17年度第1号。
- 16) 福島正義: “審美治療 県内でも浸透”. 2005年11月9日(水)新潟日報朝刊。
- 17) 福島正義: “新大生 2割が虫歯ゼロ”. 2005年11月21日(月)新潟日報朝刊。
- 18) 福島正義: 甘口辛口“グルメでない私”. 2005年12月6日(火)新潟日報朝刊。
- 19) 福島正義: 甘口辛口“お口の役割”. 2005年12月7日(水)新潟日報朝刊。
- 20) 福島正義: 甘口辛口“最近の若者”. 2005年12月8日(木)新潟日報朝刊。
- 21) 福島正義: 甘口辛口“食事と喫煙”. 2005年12月9日(金)新潟日報朝刊。
- 22) 福島正義: 甘口辛口“唾液のはたらき”. 2005年12月13日(火)新潟日報朝刊。
- 23) 福島正義: 甘口辛口“ミイラの歯”. 2005年12月14日(水)新潟日報朝刊。
- 24) 福島正義: 甘口辛口“中国人の歯”. 2005年12月15日(木)新潟日報朝刊。
- 25) 福島正義: 甘口辛口“川ガニ”. 2005年12月16日(金)新潟日報朝刊。
- 26) 福島正義: 甘口辛口“雑煮”. 2005年12月19日(月)新潟日報朝刊。
- 27) 福島正義: 甘口辛口“8020(ハチマルニイマル)”. 2005年12月20日(火)新潟日報朝刊。
- 28) 鈴木 昭: 虐待から子どもを守るために. 新潟市生涯学習センター市民講座 新潟市生涯学習センター, 2005年6月28日。
- 29) 鈴木 昭: あそこに帰らなければ幸せになれない. 新潟県社会福祉協議会・中越大震災復興基金事業生活支援相談員研修会, アトリウム長岡, 2005年8月26日。
- 30) 鈴木 昭: 住民参加による地域福祉活動を進めるために. 第55回新潟県民福祉大会第1研究集会コーディネーター, 妙高市赤倉体育センター, 2005年10月13日。
- 31) 鈴木 昭: 地域でつながる福祉のまちづくり. 上越市社会福祉大会, リージョンプラザ上越, 2005年11月15日。
- 32) 鈴木 昭: 社会貢献活動体験研修の意義. 平成17年度教職12年経験者研修, 新潟県教育センター, 2005年8月29日。
- 33) 鈴木 昭: 児童虐待援助技術演習. 新潟県福祉保健部児童福祉司任用資格認定講習会, 新潟県庁, 2005年12月13日。
- 34) 鈴木 昭: 改正児童福祉法における市町村の役割. 五泉市子ども虐待防止ネットワーク連絡会, 五泉市福祉会館, 2006年3月8日。
- 35) 鈴木 昭: 地域全体で子どもを守る. 新潟県民生委員児童委員協議会・平成17年度児童委員活動研修会, 新潟ユニゾンプラザ, 2006年3月9日。
- 36) 富沢美恵子: 8020の達成 - 子供の歯に目を向けて - . BSデータ放送, 2005年12月19日。
- 37) 隅田好美: 新潟市歯科医師会地域保健研修会, 「福

社関係者の視点からみた口腔ケア・食事介助の問題点」対象者：歯科医師およびスタッフ，2006年1月26日。

- 38) 濃野要，石川裕子，葎原明弘：定期歯科健診について(「はーもにープロジェクト」して参加)，税理士会定例会，新潟，2006年1月23日。

総合診療部

【論文】

- 1) Fujii N, Uoshima K, Maeda T: Regeneration of Epithelium and Nerve Fibers Incident to Implantation - Neuronal Similarity between Peri-Implant and Junctional Epithelium - J. Oral Tissue Engineering, 2(2): 51-59, 2005.
- 2) Takauchi A, Kobayashi T, Tahara T, Nakazawa K, Hayakawa M, Shibata Y, Ishida I, Abiko Y, Yoshie H: The trans-chromosomal mouse-derived human monoclonal antibody promotes phagocytosis of *Porphyromonas gingivalis* by neutrophils J. Periodontol. 76: 18-23, 2005.
- 3) Kobayashi T, Kaneko S, Tahara T, Hayakawa M, Abiko Y, Yoshie H: Antibody responses to *Porphyromonas gingivalis* hemagglutinin A and outer membrane protein in chronic periodontitis. J. Periodontol. 77(3): 364-369, 2006.
- 4) Yoshie H, Kobayashi T, Tai H, Galicia JC: The role of genetic polymorphisms in periodontitis. Periodontol 2000. in press, 2006.
- 5) Amanuma R, Nakajima T, Yoshie H, Yamazaki K: Increased infiltration of CD1d+ and natural killer T cells in periodontal disease tissues. J Periodont Res, 41(1), 73-79, 2006.
- 6) Zhang X, Nakajima T, Goronzy JJ, Weyand CM.: Tissue trafficking patterns of effector memory CD4+ T cells in rheumatoid arthritis. Arthritis Rheum, 52(12), 3839-3849, 2005.
- 7) Ito H, Honda T, Domon H, Oda T, Okui T, Amanuma R, Nakajima T, Yamazaki K: Gene expression analysis of the CD4 T-cell clones derived from gingival tissues of periodontitis patients. Oral Microbiol Immunol, 20(6), 382-6, 2005.
- 8) Nakajima T, Ueki-Maruyama K, Oda T, Ohsawa Y, Ito H, Seymour GJ, Yamazaki K: Regulatory T-cells infiltrate Periodontal Disease Tissues. J Dent Res, 84(7), 639-643, 2005.
- 9) 魚島勝美：再生医療と歯科補綴学。日本補綴誌，50(1)，1-9，2006。
- 10) 藤井規孝，魚島勝美：新潟大学歯学部における卒前・卒後臨床教育の現状と展望。新潟歯学会誌，35 (2), 231-233，2006。
- 11) 森尾郁子，鶴田 潤，魚島勝美，谷口弘江，江藤一洋：欧州の歯科医学教育の動向 - 教育の質の向上を目指すプロジェクトの背景と概略 - 。日歯教誌，20 (2)，405-411，2005。
- 12) 小林哲夫：歯周炎感受性における免疫グロブリン Fc 受容体の遺伝子多型と機能の解析 日歯周誌 48 (1), 3-9 2006. 3月。
- 13) 喜多美知子，中島貴子，山崎和久，吉江弘正。有病高齢者における PMTC が歯周組織および，唾液，血清成分に与える効果：日歯保存誌 48 (5)，629-636，2005。

【著書】

- 1) Yoshie H, Galicia JC, Kobayashi T, Tai H: Genetic Polymorphisms and Periodontitis. Interface Oral Health Science. p.131-139. International Congress Series. Elsevier. 2005.
- 2) 小林哲夫，田井秀明：歯周疾患 慢性歯周炎。口腔疾患からみる治療薬と処方例(浅波惣一郎・大浦清 監修)，30-31頁，クインテッセンス出版，東京，2005。
- 3) 中島貴子：急性歯周膿瘍(朝波惣一郎，大浦清 編著) 薬 '06/ '07 口腔疾患からみる治療薬と処方例。37頁，クインテッセンス出版，東京，2005。
- 4) 中島貴子，山崎和久：健常な高齢患者の歯科診療 - 2 歯周疾患への対応(渡邊 誠，岩久正明 監著)。歯科衛生士のための高齢者歯科学。102-110頁，永未書店，東京，2005。
- 5) 渡邊清志(分筆)：歯科技工辞典 第1版第14刷，医歯薬，東京，2005年。

【商業誌】

- 1) 小林哲夫，田井秀明：慢性・侵襲性歯周炎の候補遺伝子，the Quintessence，24 (11)：63-72，2005。

【研究成果報告書】

- 1) 小林哲夫(代表)：歯周疾患と自己免疫疾患の共通リスク遺伝子の特定，日本学術振興会科学研究費補助金研究 基盤研究B 課題番号 15390644 2006年。
- 2) 中島貴子：歯周炎の免疫応答における NKT 細胞の役割 - 感染防御と自己組織破壊の接点。新潟大学プロジェクト推進経費若手研究者奨励研究，2005年。
- 3) 中島貴子(分担)：歯周病原細菌の免疫監視からのエスケープ機構と慢性感染の成立。日本学術振興会科学研究費補助金研究，萌芽研究 課題番号 17659655 2005年。